


—学生自らが知見・主張を発信する社会実践プロジェクト—
【13年連続】今回も2作品がACジャパン広告学生賞を受賞！

武蔵大学（東京都練馬区／学長 山崎哲哉）は、社会実践プロジェクト*の一つ「ACプロジェクト」において学生が制作した作品を「ACジャパン広告学生賞」（公益社団法人ACジャパン主催）へ毎年応募しています。2020年度は新聞広告部門で『伝わる文章/正しく読解』が、テレビCM部門で『それは「夫婦喧嘩」とは呼ばない』が、それぞれ奨励賞を受賞しました。本学の社会実践プロジェクトの作品が入賞したのはこれで13年連続となります。

***社会実践プロジェクトとは？**

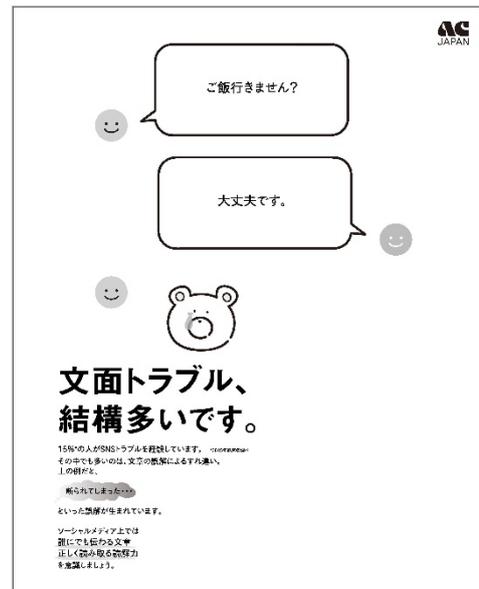
「講義や実習で得た知識を生かし、社会に向けて自らの知見や主張を積極的に発信していこう」という考えにもとづき、より現実的で実践的な学びを推進するプロジェクト。「ACプロジェクト」の他に「武蔵テレビプロジェクト」などもあります。

第17回「ACジャパン広告学生賞」受賞作品について
■新聞広告部門（応募作品総数529作品） 奨励賞
作品名【伝わる文章/正しく読解】

制作者：釜谷美葵／社会学部メディア社会学科4年(受賞当時)

この作品について

昨年に引き続き受賞できたことを大変嬉しく、光栄に思います。この作品は、ソーシャルメディアを利用する際の語彙や文法、表現についていかに意識し注意を払うかを主題としています。広いネットワークを用いて会話する中では、誰に対しても間違いのないような言葉遣いを考慮して取り組むことがメディア・リテラシーの一種です。作品の中では、伝えたかった内容と相手の受け取り方に齟齬が生まれてしまう様子を描きました。このような表現のずれの違いは、トラブルなどの原因となっています。この広告を見た人が、普段のコミュニケーションの際に少しでもこの内容を思い出して頂けたら幸いです。（釜谷美葵）


■テレビCM部門（応募作品総数244作品） 奨励賞
作品名【それは「夫婦喧嘩」とは呼ばない】

制作者：望月あみ／社会学部メディア社会学科2年(受賞当時)

この作品について

このCMは「モラルハラスメント」について扱ったものです。どのようなCMを作るうかいつか案をあげる中で、モラルハラスメントを知らない級友が多くいました。新型コロナウイルス感染拡大のニュースの裏で、家にいる時間が長くなったことによるDVや虐待の増加が問題となっていることは広く知られているかと思えます。しかし、目に見えない、言葉による暴力であるモラルハラスメントについてはあまり知られていなかったのです。それに驚いたことがきっかけで、このテーマに決めました。モラルハラスメントは夫婦喧嘩ではなく「見えないDV」である。それを苦しんでいる当事者だけでなく、多くの人に知ってもらいたい。そして一人で抱え込まずに誰かに相談して欲しい。そういう思いで作りました。まさか賞を頂けるとは思っておらず、大変嬉しく思っております。今後も精進していきたいと思っております。（望月あみ）


—本件に関するお問い合わせ先—

武蔵大学 広報室

TEL : 03-5984-3813 FAX : 03-5984-3727 E-mail : pubg-r@sec.musashi.ac.jp

■ 武蔵大学〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕 ～都心に近く 緑豊かなワンキャンパス～

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立旧制七年制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。武蔵大学は、経済、人文、社会の3学部8学科からなる文系総合大学。一年次から4年間のゼミナールが必修で「ゼミの武蔵」といわれる。近年ではロンドン大学の学位が取得できるプログラムや国際村の設置などグローバル教育にも力を入れている。

学長 山崎哲哉 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1